

第525号

# 週刊さんいん学問

めざして読んで



きょうの紙面

2

おうちで英語 / 作って遊んで

3

ガザ出身医師の映画に注目集まる

4

まなぶんクロス / 投稿ひろば

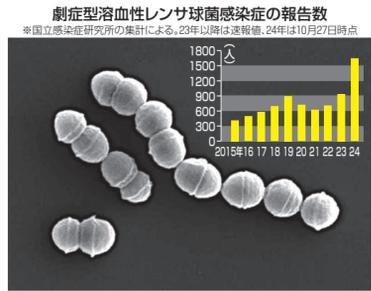
## ニュース？ なぜなに

昨年から、いくつかの感染症が流行し、かかった人の報告数が「これまでで最大です」などのニュースが相次ぎました。

### ★ コロナ対策ゆるみ ★

原因は特定されていませんが、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の特別あつかが終わって対策がゆるみ、さまざまな感染症が広がりやすい条件が重なったことと関係があるのではないかとみられています。

特に注目されるのは「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」という、めずらしい病気です。せき



などで広がる細菌の一種「溶血性レンサ球菌(溶連菌)」が急速に全身に広がって筋肉や内臓をいためつけ、亡くなる人もいます。

昨年1年間に報告された患者数は、国立感染症研究所によると全国で941人で、記録を取り

手足口病  
マイコプラズマ肺炎  
劇症型溶血性レンサ球菌

## さまざまな感染症



## 基本の対策しっかり

感染症にはいろいろな種類がありますが、手洗いなどの基本的な対策は多くの感染症の予防に役立ちます。しっかり実行しましょう。

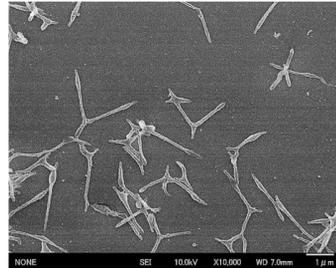
手洗いのタイミングは外出から帰った時、トイレの後、食事の前など。きれいな水で手をぬらしてから、せっけんをあわだてて手のひらとうら側、指先、指の間、手首もよく洗い、水ですすぎます。最後に清潔なタオルなどで水気を取ります。

「せきエチケット」を覚えていませんか？ せきやくしゃみをするときはティッシュやハンカチで口と鼻をおおい、しぶきを飛ばさないようにすることです。こみ合った電車、バスの中ではマスクを。体の調子が良くないときは、外出せず家で休むことも大切です。



始めてから最も多かったのですが、今年はさらに増え、10月27日の時点で1644人となりました。

発熱や長くせきが特徴の「マイコプラズマ肺炎」もこれまでの10年で最も多い患者が報告されました。子どもを中心に口の中や手足に水ぶくれやブツブツができる「手足口病」も、夏が終わると流行が落ち着くことが多いのですが、今年は10月に入っても患者が増えています。



マイコプラズマ肺炎を引き起こす細菌(国立感染症研究所提供)

### ★ インフルも注意を ★

コロナ対策がゆるむ前は、人々がおおぜい集まる機会は少なく、みんな手洗いやマスク着用などを熱心に行っていたため、ふだんは流行する感染症も少なくなっていました。そうして免疫を持たない人が多くなったところへ、みん

ながコロナ流行以前のように活発に外出したり集まったりするようになったので、感染症が広がりやすくなったのかもしれない。

これから冬に向かうとインフルエンザも増えることが予想されます。専門家は注意を呼びかけています。

## まなぶんクイズ

(17日付紙面から出題) 雲が海のように広がり、山々が島のように見える風景のことを雲海と

いいます。雲海見物の名所で知られる島根県川本町三原のある場所で朝食を楽しむイベントが16日にありました。次の

- ① 月山
- ② 丸山
- ③ 七尾城跡
- ④ 丸山城跡

クイズの答えは4面へ

## NEWS アラカルト

### スポーツ

最速165km/hの剛速球を投げるプロ野球ロッテの佐々木朗希投手がアメリカ大リーグに挑戦することになりました。9日に球団を通じ「一度しかない野球人生で後悔のないように、世界一の選手になれるよう頑張る」とコメントしました。23歳の佐々木投手は海外のチームに自由に行ける権利を持っていませんが、球団の

### 佐々木投手が米大リーグ挑戦



昨年3月のワールド・ベースボールクラシック(WBC)で投げる佐々木朗希投手はアメリカのマイアミ(共同) 許可があれば早い段階で大リーグに挑戦できるポスティングシステムという制度を利用します。本場のアメリカでプレーする希望を伝え続け、ロッテから認められました。2022年に一人も走者を出さない完全試合を達成。23年にはワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本の優勝に貢献しました。192cmの長身から切れ味鋭い球を投げる有望な投手として、たくさんの大リーグ球団から関心を寄せられています。

### 政治

自民党トップ(総裁)の石破茂首相は11日、国会で第103代の内閣総理大臣(首相)に選ばれ、第2次石破内閣を発足させました。衆議院では、首相を指名する選挙の1回目の投票で全議席(465)の半数以上に届いた人はおらず、上位の2人のうちどちらかを選ぶ決選投票を、30年ぶりに行いました。

### 第2次石破内閣が発足 30年ぶり決選投票



首相に指名されるためには、全議員の半数以上の支持を得る必要があります。しかし政権を担う与党は、10月の衆議院選挙の大敗で半数以上の議席を持っていません。1回目の投票は1位が石破首相、2位は立憲民主党の野田佳彦代表で、この2人が決選投票に進み、石破首相が野田代表を上回りました。与党が半数以上の参議院は、石破首相を1回目の投票で選びました。衆議院と参議院で違う人を選んだ場合は憲法の決まりで、衆議院で選ばれた人が首相になります。

### 科学

町や村の近くに広がる里山や農地にすむ鳥やチョウの数が急速に少なくなっていることが、環境省の調査で明らかになりました。スズメのように、以前は身近にたくさんいた生き物の減り方が特に目立つそうです。調査は2008~22年度に、全国325カ所ですべて5千人以上が協力し、動植物の数を決まったやり方で数

### 身近な鳥やチョウ、減り方深刻



スズメ



オオムラサキ(馬宮孝好さん提供)

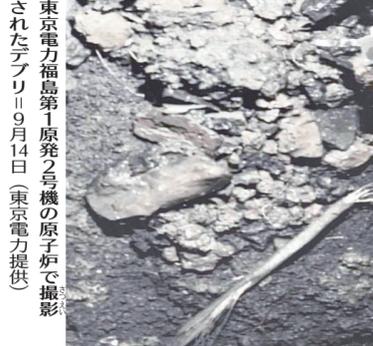
えました。鳥は106種類を調べましたが、そのうち16種類の減り方がはげしく、スズメは1年当たり3.6%も減っていました。チョウは、調べた103種類の3分の1に当たる34種類が1年に3.7%以上少なくなっていて、日本の国のチョウであるオオムラサキもふくまれていました。山や森の中よりも、農地や草原のように平らに開けた場所での減り方が深刻です。

## ニュースのヒント

2011年3月に起きた東京電力福島第1原子力発電所の事故で、とけて落ちた核燃料(デブリ)が初めて原子炉から取り出されました。とけた核燃料などが冷えてかたまったものはデブリとよばれ、人体に害のある強い放射線を出しています。デブリは、かけらやくずを意味する言葉です。

福島第1原発は11年3月11日の東日本大震災による被害で、原子炉を冷やせなくなりました。1

## 福島第1原発のデブリ



東京電力福島第1原発2号機の原子炉で撮影されたデブリ(9月14日)(東京電力提供)

## 放射線で取り出し難しく

~3号機では原子炉の中の核燃料が高温でとけて落ち、きけんなデブリが底などに約880tもあるとみられます。今も水で冷やしているため、放射性物質でよごれた水が出る原因にもなっています。国と東京電力は、放射性物質が飛び散った第1原発を51年までになくす計画ですが、それにはデブリを取りのぞく必要があります。

東京電力は特別な装置を使い、まず2号機のデブリを少し取り出し、成分などを調べる考えです。ただ作業はとて難しく、やっと約0.7tを原子炉から外に出すことができました。いつデブリを全部取り出し、第1原発をなくせるのかははっきりしていません。

## 4K+7K7 願い

被団協にノーベル平和賞! 核兵器のない世界に

世界で唯一の被爆国 核兵器の脅威を知る

核兵器も戦争もなくなつて

世界が笑顔であふれるように

## 核兵器なくそう

79年前、アメリカが広島と長崎に落とされた原子爆弾による被害者たちでつくる団体「日本原水爆被害者団体協議会」が、今年のノーベル平和賞に選ばれた。核兵器をなくそうと強く訴えてきたことが理由なんだ。世界に今あるとされる核兵器は1万以上。「ノーモア・ヒバクシャ(もう被爆者を出さな)」という合言葉に、かつてないほど重みを感じるね。